



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物に関して適切な業者へ依頼し、マニフェスト伝票にて適切に管理・処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・CO <sub>2</sub> 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、エネルギー使用量の算定・削減に取り組んでいる。 ・事務所の一部をLED化やダンプと社用車はハイブリッド車を使用することでエネルギー使用量を削減している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO <sub>2</sub> 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の二酸化炭素の排出量を把握・削減に取り組んでいる。 ・事務所の一部をLED化やダンプと社用車はハイブリッド車を使用することで温室効果ガス排出量を削減している。		2.4										7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事において芝や砂利を引くことで、環境への悪影響を最小限に抑えつつ、自然環境の保全や回復を促進している。 ・阿蘇地区建設業青年部での取り組みとして清掃活動を実施し、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・現場内の土を再利用や環境に配慮した資材を使用を徹底している。 ・事務所においては再生紙、裏紙の利用を推進している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川汚濁防止のため濁水吸着マットやフィルター等を設置することで対策を講じている。 ・阿蘇の水源地を大切に、社員一人ひとりが水資源の保全を意識し行動している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務所で再生紙や裏紙の利用を徹底している。 ・環境に配慮したダンプを使用し、環境配慮を意識している。										9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所に芝を敷くことで緑の保安全管理に取り組んでいる。														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・環境に配慮したダンプを導入し、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。													7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6								9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6										11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ペットボトルやごみの分別を徹底し、海洋汚染防止の削減に貢献している。																		12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																		9.4		11.2		13.1 13.3	
36	【2050年CO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。	●																							17.2	

